

圧痕レプリカ法による縄文時代の敷物圧痕の復元研究

著者	真邊 彩
ファイル(説明)	博士論文全文 博士論文要旨 最終試験結果の要旨 論文審査の要旨
学位授与番号	17701甲人社研第22号
URL	http://hdl.handle.net/10232/21439

平成26年2月7日

鹿児島大学大学院人文社会科学研究科長 殿

最終試験の概要及び結果報告書

地域政策科学専攻 氏名 真邊 彩

学位論文題目

圧痕レプリカ法による縄文時代の敷物圧痕の復元研究

(Study on Print of ~~Wooden~~ Items by Impression Method Using Replica)

Woven

最終試験の概要

学位(博士)論文に関する最終試験を平成26年2月3日に行い、申請者による概要説明ののち、下記の試験委員と申請者の間で論文の内容に関して質疑応答を行った。

本論は縄文時代の敷物圧痕について、圧痕レプリカ法を導入することで検討した論文であるが、最終試験では、分析方法の提示方法や、分析結果の表現方法において不十分な点があり、筆者の意図が明確に伝えられない点があることなどが指摘され、また分析結果が縄文文化研究全体の中でどのように位置づけられるか、などの質問がなされた。それらに対して一定の水準を満たす回答が得られた。

以上により、学位を与えるに十分な学力と見識を有するものと認定した。

授与する博士学位 學術

最終試験結果 合

試験委員

主査 渡辺芳郎

副査 新田栄治

副査 森脇 昭 広

副査 小畑 弘 己